

# 最近の県経済動向

*Fukushima Economic Performance Monthly*

平成13年12月26日



うつくしま、ふくしま。

福島県

---

## 目次

1 最近の県経済動向	1
2 福島県の主要経済指標	3
個人消費	
大型小売店販売額 乗用車新規登録台数	3
建設需要	
新設住宅着工戸数 公共工事請負金額 業務用建築物着工棟数	3
生産活動	
鉱工業生産指数 投資財生産指数 消費財生産指数	4
鉱工業出荷指数 鉱工業在庫指数	
大口電力使用量 大口電力契約量	5
雇用・労働	
新規求人倍率 有効求人倍率	5
有効求人数 有効求職者数 雇用保険受給者実人員 現金給与総額指数	6
所定外労働時間指数 常用雇用指数 パートタイム労働者比率	7
物価	
卸売物価指数 消費者物価指数	7
企業・金融	
企業倒産件数・負債総額 金融機関預貸残高 貸出約定平均金利	8
中小企業業況判断DI	9
市場	
株式 円相場	9
3 景気動向指数(福島県)	10
4 中小企業経営動向調査(財)福島県産業振興センター)	11
5 中小企業景況レポート(福島県中小企業団体中央会)	12
(参考)	
1 福島県金融経済概況	14
2 月例経済報告	14

### お願い

本統計表から抜粋又は新たに資料を作成して利用する場合は、『福島県 最近の県経済動向から抜粋(又は作成)』と御記入くださるようお願いいたします。

福島県企画調整部統計調査課  
分析・情報グループ 分析チーム  
〒960-8670 福島市杉妻町2番16号  
電話 024(521)7149  
FAX 024(521)7914

## 1 最近の県経済動向

県内の景気は、個人消費の低迷と生産活動や雇用情勢の悪化で、一層厳しさを増している。

### (1) 個人消費

**大型小売店販売額(10月)**は総額約192億円で、前年同月比(店舗調整後)11.1%の減少となり、12年10月を除き9年9月から前年割れが続いている。

内訳を見ると、百貨店は衣料品、飲食料品、その他の商品が前年を下回ったため、同9.9%の減少となった。一方、スーパーは飲食料品を始め、ほとんどの商品が前年を下回ったため、同11.4%の減少となった。スーパーでは厳しい状態が長期にわたって続いている。

**乗用車新規登録台数(11月)**は6,219台で、前年同月比5.5%の減少となった。

内訳を見ると、小型車、軽自動車は前年を上回ったが、大型車、中型車は下回った。

### (2) 建設需要

**新設住宅着工戸数(10月)**は総戸数1,455戸で、前年同月比3.2%の増加となった。

内訳を見ると、持家、分譲住宅の着工は前年を下回ったが、貸家は上回った。

**公共工事請負金額(11月)**は総額約236億円で、前年同月比27.3%の減少となった。

内訳を見ると、国の機関、地方の機関からの発注とも前年を下回った。

4月からの累計では、前年比0.2%の減少となった。

**業務用建築物着工棟数(10月)**は153棟で、前年同月比15.5%の減少となった。

内訳を見ると、サービス業用は前年を上回ったが、鉱工業用、商業用は下回った。

### (3) 生産活動

**鉱工業生産指数(10月)**は94.0で、前年同月比11.5%の低下となり、9か月連続で前年を下回った。

これは、電気機械で前年割れが続いているのを始め、その他の業種も悪化していることによるものである。

**投資財生産指数(10月)**は76.0で、資本財、建設財とも前年を下回ったため、前年同月比15.3%の低下となった。

**消費財生産指数(10月)**は110.4で、耐久消費財、非耐久消費財とも前年を下回ったため、前年同月比5.5%の低下となった。

**出荷指数(10月)**は108.5(前年同月比2.0%)、**在庫指数(10月)**は100.1(同33.4%)となった。

**大口電力使用量(10月)**は前年を下回ったが、**大口電力契約量(10月)**は上回った。

### (4) 雇用・労働

**新規求人倍率(10月)**は0.72倍で、前月から0.05ポイントの低下となった。

**有効求人倍率(10月)**は0.45倍で、12年12月の0.75倍をピークに悪化が続いている。

**雇用保険受給者実人員(10月)**は20,618人で、前月を大幅に上回った。

**現金給与総額指数(名目・10月)**は84.1で、4か月連続で前年を下回った。

**所定外労働時間指数(10月)**は92.9で、6か月連続で前年を下回った。

**常用雇用指数(10月)**は98.9で、11年2月以降、前年を下回る動きが続いている。

(5) 物価

**卸売物価指数(全国・11月)**は94.6で、下落幅をやや拡大している。  
**消費者物価指数(10月)**は102.4で、前年同月比0.7%の低下となった。

(6) 企業・金融

**企業倒産(11月)**は、件数は19件で前年同月比24.0%の減少、負債総額は44億4600万円で前年同月比8.4%の減少となった。

倒産件数を業種別に見ると、建設関係が7件と最も多くなっている。また、理由別では販売不振が10件と過半を占めている。

**金融機関預金残高(10月)**は総額5兆6757億円で、前年同月比1.4%の減少となった。一方、**貸出残高**は総額3兆9503億円で、前年同月比0.8%の増加となった。

**貸出約定平均金利(10月)**は、2.287%となり前月を下回った。

(7) 中小企業の業況

**県内中小企業の業況感を表すDI値(11月)**は63.9で、前月の64.2に比べて0.3ポイントの改善となった。

業種別に見ると、特に製造業、建設業では70前後の厳しい状況にある。

## 2 福島県の主要経済指標

区分 年月	個人消費				建設需要					
	1 大型小売店販売額		2 乗用車新規登録台数		3 新設住宅着工戸数		4 公共工事請負金額		5 業務用建築物 着工棟数	
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
	(百万円)	(億円)	(台)	(千台)	(戸)	(千戸)	(百万円)	(億円)	(棟)	(棟)
H9年	310,209	234,129	82,493	4,492	19,232	1,387	491,988	236,797	2,523	102,552
10	286,403	232,485	75,399	4,093	17,590	1,198	604,522	264,407	2,253	85,072
11	277,727	231,244	76,549	4,154	16,499	1,215	487,006	240,212	1,863	75,725
12	263,011	226,326	80,969	4,260	15,828	1,230	407,510	209,317	1,863	81,313
12年5月	21,333	18,101	5,512	294	1,235	100	32,995	16,965	146	6,789
6	20,338	17,780	7,245	383	1,578	113	44,328	17,584	158	7,670
7	22,971	21,014	6,930	378	1,363	102	45,957	17,658	190	7,731
8	21,508	17,065	4,752	255	1,353	104	31,474	16,598	143	7,268
9	19,817	16,395	7,519	386	1,305	106	34,995	19,877	153	6,908
10	22,340	18,926	6,077	323	1,410	105	38,651	20,122	181	6,876
11	19,884	18,536	6,579	353	1,349	107	32,467	15,271	185	6,709
12	28,439	25,726	5,850	335	1,360	110	35,360	14,422	171	6,554
13年1月	22,896	19,463	5,054	267	915	81	14,961	9,813	115	5,748
2	19,475	15,899	7,348	388	1,091	83	24,383	10,489	114	5,565
3	22,612	18,718	12,107	600	918	95	50,951	31,075	99	5,891
4	21,142	18,066	5,615	295	1,428	100	35,253	20,360	170	6,345
5	20,546	17,914	5,518	300	1,230	100	21,381	12,977	146	6,494
6	19,349	17,738	6,900	387	1,345	101	38,515	16,335	155	7,056
7	21,264	20,653	7,069	405	1,449	103	44,079	18,496	151	7,122
8	19,995	16,938	4,680	269	1,119	105	37,653	15,921	138	6,675
9	r 18,129	r 16,551	7,539	377	1,451	103	34,551	17,964	142	6,286
10	P 19,168	P 17,860	5,804	321	1,455	102	46,156	20,214	153	6,228
11			6,219	345			23,617	14,388		
	前年同期(月)比									
H9年	0.3	1.5	5.3	3.8	19.5	15.6	2.8	3.5	3.2	3.0
10	9.7	4.4	8.6	8.9	8.5	13.6	22.9	11.7	10.7	17.0
11	5.0	4.3	1.5	1.5	6.2	1.4	19.4	9.2	17.3	11.0
12	2.7	4.7	5.8	2.6	4.1	1.3	16.3	12.9	0.0	7.4
12年5月	3.8	5.8	6.7	3.6	25.4	1.1	59.7	8.7	19.8	12.0
6	3.8	4.5	14.9	6.0	7.8	1.2	21.6	7.3	15.1	9.9
7	2.3	5.0	4.6	0.7	7.5	0.8	18.0	16.7	45.0	16.5
8	5.0	6.1	6.5	5.0	11.2	3.8	0.2	7.1	0.7	9.8
9	2.9	5.0	2.2	0.8	1.0	3.1	7.6	10.8	13.1	8.2
10	4.4	4.7	6.0	4.0	14.4	1.5	12.9	18.6	13.1	8.6
11	1.8	4.1	1.2	2.9	11.4	2.2	8.0	7.9	24.2	8.6
12	4.4	5.5	9.8	3.3	3.5	10.6	21.1	0.7	0.6	1.0
13年1月	2.4	2.6	4.0	2.3	15.5	11.1	38.2	17.1	7.5	0.5
2	2.6	5.0	2.5	0.2	18.0	5.9	13.1	16.0	24.5	8.5
3	3.8	2.9	1.8	0.7	19.1	1.4	3.8	15.9	27.2	5.4
4	4.2	3.6	2.2	0.9	7.6	7.2	68.0	4.7	19.7	6.5
5	5.3	3.2	0.1	2.1	0.4	0.2	35.2	23.5	0.0	4.3
6	2.3	1.9	4.8	0.9	14.8	10.5	13.1	7.1	1.9	8.0
7	2.4	3.1	2.0	7.3	6.3	1.4	4.1	4.7	20.5	7.9
8	3.5	3.2	1.5	5.5	17.3	1.1	19.6	4.1	3.5	8.2
9	3.0	0.7	0.3	2.3	11.2	2.9	1.3	9.6	7.2	9.0
10	11.1	7.1	4.5	0.4	3.2	3.3	19.4	0.5	15.5	9.4
11			5.5	2.1			27.3	5.8		
備考	百貨店とスーパーの計		大型、中小型、軽乗用車の計		持家、貸家、給与住宅、分譲住宅の計		年表示は、年度ベース		鉱工業用、商業用、サービス業用の計	
	前年同期(月)比は店舗調整後		自動車販売店協会(新車登録台数実績表)		国土交通省		国の機関と地方の機関の計		建設統計月報	
資料	経済産業省(商業動態統計調査)		軽自動車協会		県建築住宅課		保証事業会社協会(公共工事前払金保証統計)		国土交通省	
出所										

rは訂正值 Pは速報値

区分 年月	生産活動									
	6 鉱工業生産指数		7 投資財生産指数		8 消費財生産指数		9 鉱工業出荷指数		10 鉱工業在庫指数	
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
H9年	103.7	106.0	101.5	109.9	105.4	104.6	107.1	107.1	127.6	104.0
10	97.7	98.5	86.5	96.7	106.8	100.7	104.7	99.8	131.5	105.1
11	98.6	99.3	83.2	92.9	111.2	101.3	106.1	101.1	136.5	96.0
12	101.6	105.2	87.1	97.8	111.8	102.7	108.2	107.3	147.9	95.4
12年5月	94.2	97.6	75.2	82.7	103.2	96.8	100.9	97.2	146.0	95.4
6	102.4	107.5	85.6	96.2	115.6	107.4	111.3	109.2	144.4	96.7
7	103.0	106.1	85.2	92.4	117.3	105.5	112.0	108.1	141.3	97.4
8	97.6	100.8	80.7	93.4	111.9	95.6	107.2	102.6	136.5	96.8
9	105.3	110.2	97.7	111.5	112.9	104.1	109.7	115.9	141.3	91.6
10	106.2	108.1	89.7	96.1	116.8	107.3	110.7	108.2	150.3	95.6
11	105.4	108.2	91.4	99.3	117.4	107.1	109.6	109.6	143.9	96.7
12	106.4	107.3	101.1	101.3	115.4	105.7	114.9	110.5	134.0	94.4
13年1月	93.8	95.4	81.8	88.9	93.3	88.2	97.0	95.4	120.1	99.2
2	98.4	101.2	90.9	99.8	105.8	98.6	104.0	103.2	112.0	100.8
3	105.7	114.4	101.8	130.0	120.7	109.6	114.2	122.5	111.3	94.2
4	93.5	97.1	68.0	88.1	106.9	100.0	101.1	96.7	118.8	97.8
5	93.7	93.8	75.9	83.8	110.5	97.2	100.8	93.5	121.0	101.0
6	96.8	98.1	82.8	91.0	113.2	103.3	105.3	99.8	120.1	101.7
7	95.6	96.9	78.8	87.4	111.2	101.4	106.3	99.5	118.6	101.1
8	88.4	89.0	72.7	82.1	105.6	92.8	100.8	91.0	117.3	100.7
9	92.0	96.2	79.6	97.7	108.7	r 97.8	108.5	r 101.9	108.1	94.6
10	P 94.0	P 95.2	P 76.0	P 83.2	P 110.4	P 104.5	P 108.5	P 95.9	P 100.1	P 96.6
11										
	前年同期(月)比									
H9年	26	36	4.3	3.0	0.4	40	39	4.3	12.8	1.5
10	5.8	7.1	14.8	12.0	1.3	38	22	6.8	3.1	1.0
11	0.9	0.8	3.8	4.0	4.1	06	1.3	1.3	3.8	8.6
12	3.0	5.9	4.7	5.3	0.5	14	2.0	6.1	8.4	0.7
12年5月	4.3	7.4	3.3	3.1	1.1	29	5.0	8.0	11.5	1.1
6	2.7	7.4	2.4	6.1	1.9	1.7	1.3	8.1	19.5	0.6
7	0.8	4.2	3.5	0.6	0.8	0.3	0.6	4.7	23.2	0.2
8	5.3	8.7	11.3	9.1	4.0	4.1	7.0	9.7	9.5	0.5
9	2.4	4.0	13.2	3.2	0.6	0.3	1.6	4.4	3.7	0.2
10	4.8	6.7	12.7	8.0	5.0	3.2	2.6	6.2	3.7	2.1
11	0.3	3.7	4.9	8.6	2.7	0.9	3.8	3.0	8.2	1.5
12	4.3	4.1	21.2	8.0	2.4	0.3	4.0	4.0	14.9	2.3
13年1月	5.2	2.0	14.6	3.7	8.0	0.9	4.0	1.9	30.8	1.8
2	0.5	2.1	6.8	0.2	0.4	2.1	0.2	1.9	28.3	3.1
3	5.7	2.9	8.8	2.3	2.1	2.9	4.1	2.6	26.0	3.0
4	5.1	4.2	3.7	0.1	7.1	1.8	4.2	5.3	24.3	4.8
5	0.5	3.9	0.9	1.3	7.1	0.4	0.1	3.8	17.1	5.9
6	5.5	8.7	3.3	5.4	2.1	3.8	5.4	8.6	16.8	5.2
7	7.2	8.7	7.5	5.4	5.2	3.9	5.1	8.0	16.1	3.8
8	9.4	11.7	9.9	12.1	5.6	2.9	6.0	11.3	14.1	4.0
9	12.6	12.7	18.5	12.4	3.7	6.1	1.1	12.1	23.5	3.3
10	11.5	11.9	15.3	13.4	5.5	2.6	2.0	11.4	33.4	1.0
11										
備考	原指数 平成7年 = 100									
資料 出所	県統計調査課「鉱工業指数月報」 経済産業省									

rは訂正值 Pは速報値

区分 年月	雇用 労働						
	11 大口電力使用量		12 大口電力 契約量	13 新規求人倍率		14 有効求人倍率	
	福島県	全 国	福島県	福島県	全 国	福島県	全 国
	(千kWh)	(百万kWh)	(kW)	(倍)	(倍)	(倍)	(倍)
H9年	4,569,906	266,349	1,165,788	1.31	1.20	0.87	0.72
10	4,459,474	258,248	1,197,593	0.92	0.92	0.57	0.53
11	4,587,953	256,891	1,197,182	0.89	0.87	0.51	0.48
12	5,002,712	266,707	1,226,599	1.08	1.05	0.65	0.59
12年5月	387,208	21,476	1,213,846	1.03	1.00	0.63	0.56
6	424,850	23,011	1,220,061	1.06	1.07	0.65	0.58
7	451,246	23,843	1,231,799	1.10	1.09	0.66	0.60
8	422,584	23,019	1,234,208	1.11	1.10	0.68	0.62
9	434,915	23,305	1,240,145	1.17	1.12	0.69	0.63
10	435,961	22,983	1,243,752	1.14	1.13	0.71	0.64
11	436,429	22,141	1,251,783	1.20	1.16	0.73	0.65
12	443,058	22,065	1,254,270	1.17	1.15	0.75	0.66
13年1月	422,842	21,164	1,256,811	1.19	1.11	0.73	0.65
2	413,065	20,860	1,263,425	0.99	1.08	0.68	0.64
3	441,527	22,104	1,267,198	1.07	1.02	0.66	0.61
4	407,467	20,980	1,262,355	0.99	1.05	0.62	0.62
5	408,458	21,261	1,265,048	0.92	1.08	0.61	0.61
6	435,646	22,472	1,264,528	0.83	1.07	0.56	0.61
7	456,406	23,562	1,277,062	0.89	1.04	0.54	0.60
8	410,397	21,983	1,274,608	0.80	1.02	0.50	0.59
9	416,886	21,903	1,266,255	0.77	1.00	0.47	0.57
10	416,056	21,901	1,248,174	0.72	0.87	0.45	0.55
11							
	前年同期(月)比						
H9年	5.6	2.1	2.0	-	-	-	-
10	2.4	3.0	2.7	-	-	-	-
11	2.9	0.5	0.0	-	-	-	-
12	9.0	3.8	2.5	-	-	-	-
12年5月	5.7	4.7	2.0	-	-	-	-
6	7.9	4.2	2.4	-	-	-	-
7	10.5	5.2	3.2	-	-	-	-
8	10.6	5.0	3.1	-	-	-	-
9	8.1	1.5	3.7	-	-	-	-
10	10.2	2.6	3.8	-	-	-	-
11	12.6	2.8	4.6	-	-	-	-
12	12.9	2.6	4.7	-	-	-	-
13年1月	12.3	3.8	4.6	-	-	-	-
2	5.1	1.7	4.7	-	-	-	-
3	7.0	0.3	4.9	-	-	-	-
4	6.2	0.4	4.1	-	-	-	-
5	5.5	1.0	4.2	-	-	-	-
6	2.5	2.3	3.6	-	-	-	-
7	1.1	1.2	3.7	-	-	-	-
8	2.9	4.5	3.3	-	-	-	-
9	4.1	6.0	2.1	-	-	-	-
10	4.6	4.7	0.4	-	-	-	-
11							
備考	県は東北電力、国は電力10社計 契約量の年値は、月平均値			新規、有効求人倍率の年値は原数値、各月値は季節調整値			
資料 出所	東北電力福島支店 電気事業連合会			福島労働局職業安定部 厚生労働省			

区分 年月	15 有効求人人数		16 有効求職者数		17 雇用保険受給者実人員		18 現金給与総額 指数(名目)	
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
	(人)	(千人)	(人)	(千人)	(人)	(千人)		
H9年	24,829	1,493	28,458	2,071	13,368	874	104.6	102.7
10	19,786	1,265	33,523	2,395	16,244	1,021	103.0	101.4
11	18,595	1,207	36,783	2,530	17,401	1,073	99.6	100.1
12	23,413	1,473	35,986	2,507	16,193	1,038	100.8	100.6
12年5月	22,104	1,378	38,929	2,685	16,568	1,015	81.4	81.2
6	22,194	1,375	37,644	2,581	16,596	1,052	139.4	138.7
7	22,653	1,395	36,300	2,478	16,573	1,064	115.2	123.1
8	24,371	1,494	35,715	2,456	17,046	1,115	93.4	89.4
9	26,023	1,591	35,224	2,433	15,810	1,055	84.6	81.5
10	26,678	1,653	35,504	2,458	16,084	1,064	85.1	81.9
11	26,706	1,615	33,708	2,362	15,754	1,038	85.0	84.7
12	24,486	1,517	32,278	2,288	15,130	1,000	187.6	190.1
13年1月	24,785	1,556	34,469	2,417	15,088	1,003	86.6	87.5
2	24,233	1,633	34,344	2,442	15,326	993	83.9	80.3
3	25,543	1,774	36,448	2,593	15,117	973	90.6	85.9
4	23,918	1,706	40,697	2,810	15,656	984	83.9	82.6
5	23,165	1,545	41,924	2,761	17,635	1,090	82.6	81.1
6	20,950	1,457	41,193	2,638	17,419	1,073	143.5	137.4
7	21,067	1,453	41,231	2,580	19,033	1,138	109.1	122.4
8	20,477	1,477	40,924	2,553	19,271	1,167	92.2	87.6
9	20,643	1,515	41,381	2,545	19,150	1,125	83.0	80.5
10	21,156	1,530	44,445	2,672	20,618	1,166	84.1	80.9
11								
	前年同期(月)比							
H9年	7.6	7.1	25	4.5	0.4	3.8	4.7	1.6
10	20.3	15.3	17.8	15.6	21.5	16.8	1.5	1.3
11	6.0	4.6	9.7	5.6	7.1	5.1	3.3	1.3
12	25.9	22.0	22	0.9	6.9	3.3	1.2	0.5
12年5月	26.8	21.6	0.6	0.4	0.9	1.7	1.2	0.7
6	30.4	24.5	2.1	1.3	7.9	3.9	1.5	1.8
7	28.6	26.1	2.9	1.9	8.3	4.9	1.7	0.4
8	28.8	28.9	2.7	1.3	8.1	3.0	0.5	1.0
9	26.3	27.7	4.5	2.0	13.6	6.2	2.8	0.9
10	30.1	30.3	3.3	0.9	8.7	3.0	1.3	0.9
11	31.0	29.0	6.7	2.2	10.2	4.2	2.0	0.7
12	30.2	30.0	5.2	1.8	10.3	5.2	3.9	0.9
13年1月	24.3	25.1	4.5	2.1	8.4	3.0	3.7	1.3
2	17.0	19.9	1.9	2.3	7.4	4.4	1.7	0.5
3	13.0	14.7	0.2	0.7	4.2	2.2	3.4	0.5
4	6.3	13.7	4.1	1.8	1.9	0.4	0.7	0.0
5	4.8	12.1	7.7	2.8	6.4	7.4	1.5	0.1
6	5.6	6.0	9.4	2.2	5.0	2.0	2.9	0.9
7	7.0	4.2	13.6	4.1	14.8	7.0	5.3	0.6
8	16.0	1.1	14.6	3.9	13.1	4.7	1.3	2.0
9	20.7	4.8	17.5	4.6	21.1	6.6	1.9	1.2
10	20.7	7.4	25.2	8.7	28.2	9.6	1.2	1.2
11								
備考							全産業5人以上 平成7年=100	
資料 出所							県統計調査課「毎月勤労統計 調査結果速報」厚生労働省	



区分 年月							物価			
	19 所定外労働時間指数		20 常用雇用指数		21 パートタイム 労働者比率		22 卸売物価 指数	23 消費者物価指数		
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	全国	福島県	全国	
H9年	105.9	107.8	102.4	101.7	11.2	15.6	99.0	102.7	101.9	
10	100.8	99.6	102.7	101.9	12.6	16.3	97.5	103.8	102.5	
11	90.0	97.7	101.8	101.6	15.8	19.5	96.1	103.5	102.2	
12	99.6	101.2	101.3	101.4	15.4	20.2	96.1	103.0	101.5	
12年5月	91.9	96.9	101.5	101.6	15.2	19.9	96.1	103.4	101.8	
6	93.9	97.9	101.6	101.8	14.8	20.0	96.1	103.1	101.5	
7	100.0	100.0	101.3	101.9	15.1	20.2	96.4	102.9	101.3	
8	100.0	96.9	101.4	101.7	15.3	20.4	96.4	102.9	101.3	
9	104.0	101.0	101.2	101.5	15.3	20.4	96.3	102.9	101.6	
10	104.0	103.1	101.3	101.4	15.5	20.5	95.9	103.1	101.7	
11	105.1	106.2	101.2	101.6	15.2	20.6	95.9	102.7	101.5	
12	104.0	107.2	100.8	101.6	16.0	20.7	95.9	102.9	101.5	
13年1月	97.0	96.9	98.5	101.0	13.7	21.0	95.7	103.4	101.5	
2	102.0	100.0	98.9	100.7	14.7	21.0	95.7	103.1	101.2	
3	109.1	105.2	98.8	100.4	14.4	20.9	95.6	103.0	101.1	
4	106.1	102.1	99.3	101.3	14.9	20.6	95.5	102.8	101.3	
5	89.9	94.8	98.8	101.4	15.2	20.7	95.5	103.1	101.3	
6	90.9	94.8	98.8	101.6	15.1	20.7	95.4	102.3	101.0	
7	93.9	94.8	98.9	101.7	16.0	20.9	95.5	101.7	100.5	
8	87.9	91.8	98.6	101.5	16.9	21.1	95.4	102.1	100.8	
9	89.9	92.8	99.3	101.3	16.7	21.1	95.2	102.0	100.9	
10	92.9	94.8	98.9	101.3	16.6	21.0	94.8	102.4	101.1	
11							94.6			
	前年同期(月)比									
H9年	2.9	1.5	0.9	0.9	-	-	0.7	2.3	1.8	
10	4.8	7.6	0.3	0.2	-	-	1.6	1.1	0.6	
11	10.7	1.9	0.9	0.3	-	-	1.5	0.3	0.3	
12	10.7	3.6	0.5	0.2	-	-	0.1	0.5	0.7	
12年5月	12.3	3.3	0.9	0.3	-	-	0.2	0.5	0.7	
6	13.4	4.4	0.4	0.2	-	-	0.3	0.4	0.7	
7	16.4	4.3	0.5	0.1	-	-	0.3	0.0	0.5	
8	19.3	3.3	0.1	0.2	-	-	0.2	0.6	0.8	
9	15.7	4.2	0.4	0.2	-	-	0.1	0.8	0.8	
10	8.3	3.1	0.3	0.1	-	-	0.2	0.5	0.9	
11	6.2	3.0	0.9	0.0	-	-	0.2	0.5	0.5	
12	8.3	3.0	1.5	0.1	-	-	0.2	0.0	0.2	
13年1月	6.7	2.2	3.1	0.1	-	-	0.4	0.5	0.1	
2	5.2	1.0	2.2	0.1	-	-	0.4	0.3	0.1	
3	7.0	0.9	1.4	0.2	-	-	0.6	0.1	0.4	
4	4.0	2.9	2.6	0.2	-	-	0.7	0.6	0.4	
5	2.2	2.2	2.7	0.2	-	-	0.6	0.3	0.5	
6	3.2	3.2	2.8	0.2	-	-	0.7	0.8	0.5	
7	6.1	5.2	2.4	0.2	-	-	0.9	1.2	0.8	
8	12.1	5.3	2.8	0.2	-	-	1.0	0.8	0.5	
9	13.6	8.1	1.9	0.2	-	-	1.1	0.9	0.7	
10	10.7	8.1	2.4	0.1	-	-	1.1	0.7	0.6	
11							1.4			
備考							(総平均)	(総合)		
							平成7年=100	平成7年=100		
資料 出所							日本銀行 「経済統計月報」	県統計調査課「福島県消費者 物価指数」総務省		

区分 年月	企業・金融										
	24 企業倒産				25 金融機関預貸残高				26 貸出約定平均金利		
	福島県		全国		福島県		全国		福島県	全国	
	件数	負債総額	件数	負債総額	金融機関 預金残高	金融機関 貸出残高	国内銀行 預金残高	国内銀行 貸出残高	地元地銀 3行	国内銀行	
(件)	(百万円)	(件)	(億円)	(億円)	(億円)	(百億円)	(百億円)	(%)	(%)		
H9年	216	39,745	16,365	140,210	56,187	41,333	47,463	49,302	2.838	2.367	
10	296	89,842	19,171	143,812	57,049	41,143	47,789	48,882	2.712	2.255	
11	202	195,800	15,460	135,522	57,742	39,634	48,677	46,881	2.652	2.100	
12	257	64,113	19,071	239,874	58,886	39,654	48,218	46,392	2.506	2.116	
12年5月	14	2,056	1,528	16,764	58,064	38,642	49,215	45,243	2.582	2.052	
6	16	2,949	1,560	18,746	59,073	38,696	49,423	45,333	2.573	2.039	
7	18	3,783	1,617	42,643	58,646	39,039	48,708	45,440	2.539	2.034	
8	26	13,037	1,704	13,784	58,545	39,125	47,231	45,410	2.541	2.051	
9	14	1,675	1,502	7,742	58,212	39,518	47,767	46,016	2.501	2.070	
10	27	3,499	1,711	85,611	57,569	39,201	47,063	45,460	2.501	2.087	
11	25	4,856	1,683	12,226	58,111	38,954	47,734	45,601	2.523	2.091	
12	40	7,332	1,550	8,319	58,886	39,654	48,218	46,392	2.506	2.116	
13年1月	25	118,508	1,358	9,696	57,808	38,870	47,858	45,850	2.509	2.106	
2	17	11,363	1,448	11,153	57,970	39,985	47,723	45,701	2.442	2.092	
3	22	4,597	1,703	23,668	57,158	40,315	47,686	45,697	2.454	2.047	
4	29	18,249	1,631	10,480	58,158	40,687	48,758	45,006	2.355	2.017	
5	20	12,516	1,724	10,215	57,420	40,038	48,489	44,559	2.335	1.990	
6	22	5,345	1,563	6,907	57,979	39,861	48,237	44,729	2.322	1.950	
7	30	14,668	1,567	7,470	57,231	39,464	47,888	44,543	2.340	1.936	
8	34	10,922	1,612	7,355	57,102	39,333	47,748	44,400	2.330	1.925	
9	23	6,238	1,568	30,013	57,484	39,559			2.330	1.896	
10	29	5,033	1,911	10,710	56,757	39,503			2.287	1.898	
11	19	4,446	1,851	18,821							
	前年同期(月)比				前年同期(月)比						
H9年	7.5	20.8	12.5	75.4	2.2	1.6	1.2	1.0	-	-	
10	37.0	126.0	17.1	2.6	1.5	0.5	0.7	0.9	-	-	
11	31.8	117.9	19.4	5.8	1.2	3.7	1.9	4.1	-	-	
12	27.2	67.3	23.4	77.0	2.0	0.1	0.9	1.0	-	-	
12年5月	16.7	19.7	12.4	3.9	1.6	1.9	1.4	3.3	-	-	
6	6.7	2.0	21.2	1.8	2.1	1.6	1.1	3.1	-	-	
7	5.9	97.7	21.4	214.7	2.1	0.9	0.3	3.3	-	-	
8	8.3	258.0	21.5	47.4	2.8	0.2	2.3	2.4	-	-	
9	0.0	20.1	9.5	17.6	2.8	0.6	0.7	0.9	-	-	
10	22.7	38.6	22.7	1,253.4	1.6	0.2	2.5	2.0	-	-	
11	56.3	97.4	22.7	199.3	1.9	0.1	1.5	1.1	-	-	
12	100.0	151.5	0.2	111.9	2.0	0.1	0.9	1.0	-	-	
13年1月	25.0	5,378.9	5.8	60.6	1.9	1.4	1.1	0.9	-	-	
2	21.4	524.0	0.3	7.6	2.1	0.1	0.2	1.2	-	-	
3	29.4	62.4	3.8	265.9	0.6	0.9	1.0	1.4	-	-	
4	11.5	109.6	4.4	10.8	0.0	2.5	0.4	1.6	-	-	
5	42.9	508.8	12.8	39.1	1.1	3.6	1.5	1.5	-	-	
6	37.5	81.2	0.2	63.2	1.9	3.0	2.4	1.3	-	-	
7	66.7	287.7	3.1	82.5	2.4	1.1	1.7	2.0	-	-	
8	30.8	16.2	5.4	46.6	2.5	0.5	1.1	2.2	-	-	
9	64.3	272.4	4.4	287.7	1.3	0.1			-	-	
10	7.4	43.8	11.7	87.5	1.4	0.8			-	-	
11	24.0	8.4	10.0	53.9					-	-	
備考	負債総額1,000万円以上				年・月末残高 県の預貸残高は銀行・第2地銀 ・信用金庫の計 国の預金残高は実質預金				(総合) 年・月末残ベース		
資料 出所	帝国データバンク				県、国ともオフショア勘定を含む 日本銀行福島支店 福島県金融経済概況、日本銀行 経済統計月報						

区分	27 中小企業業況判断DI						市場			
	福島県						28 株式		29 円相場	
	年月	全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	株価	出来高	インターバンク相場 (東京市場) 中心値平均
								東証株式 (第1部)	東証株式 (第1部)	
							(円)	(100万株)	(円/米ドル)	
H9年	-	-	-	-	-	-	18,365.17	105,533	120.92	
10	-	-	-	-	-	-	15,359.83	121,595	130.90	
11	-	-	-	-	-	-	16,788.51	141,200	113.91	
12	-	-	-	-	-	-	17,160.77	169,600	107.77	
12年5月	21.8	14.8	63.3	24.5	23.3	5.9	17,039.97	12,762	108.11	
6	18.7	4.5	50.0	27.3	24.1	28.6	16,969.28	16,995	106.23	
7	17.8	4.8	61.2	10.5	17.6	23.5	16,959.93	14,493	107.90	
8	21.2	10.6	59.6	13.5	26.2	22.6	16,329.89	13,435	108.07	
9	19.6	8.4	43.5	29.4	32.3	15.5	16,168.29	12,274	106.75	
10	19.8	2.7	51.0	40.5	47.3	5.8	15,311.70	11,353	108.37	
11	24.4	14.2	62.3	31.0	36.7	0.0	14,760.87	11,821	108.89	
12	24.7	13.2	64.7	25.0	40.6	4.3	14,409.74	13,964	112.21	
13年1月	40.7	32.2	53.2	46.9	55.6	32.7	13,720.95	12,218	117.10	
2	38.0	40.1	53.7	24.1	48.1	15.8	13,266.27	13,561	116.04	
3	43.3	48.7	68.9	44.3	38.0	14.3	12,708.47	19,202	121.12	
4	45.5	43.1	72.0	43.8	49.4	28.3	13,411.84	20,053	123.83	
5	48.3	47.5	61.5	46.0	58.0	32.0	13,975.55	18,178	121.93	
6	54.2	54.4	69.6	52.3	63.5	31.7	12,974.89	17,466	122.15	
7	54.2	58.6	54.0	49.2	62.9	36.4	12,151.11	14,093	124.68	
8	57.8	60.4	70.6	51.6	59.6	44.3	11,576.21	17,063	121.61	
9	61.0	64.3	73.2	60.6	56.8	46.4	9,996.83	16,003	118.98	
10	64.2	65.1	68.6	58.3	69.8	57.7	10,438.90	17,272	121.28	
11	63.9	69.5	73.5	51.6	60.0	56.5	10,511.22	16,428	122.31	
H9年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
12年5月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
13年1月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
備考	前年同期(円)比で「良い」-「悪い」社数構成比(各月末時点)						日経平均 (225種)	売買株数	直物相場	
資料 出所	県産業振興センター						日本経済 新聞社	東京証券 取引所	日本銀行	

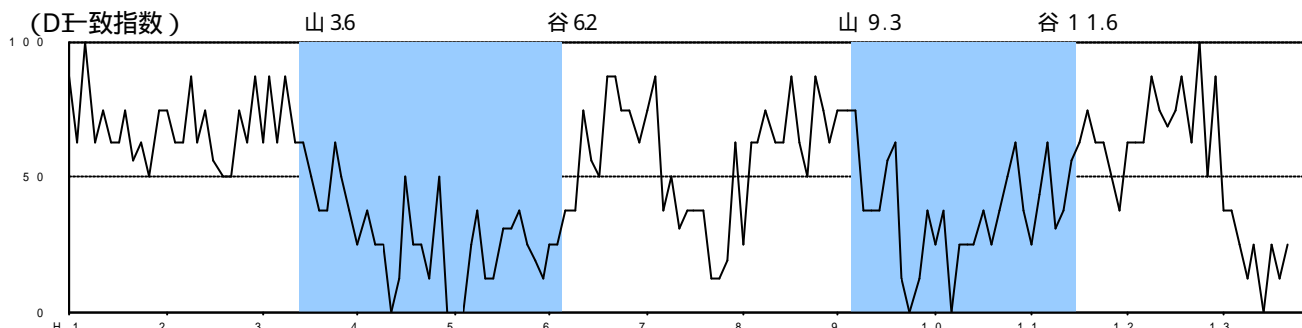
### 3 景気動向指数 (福島県)

9月の景気動向指数は、先行指数222%、一致指数250%、遅行指数167%となった。

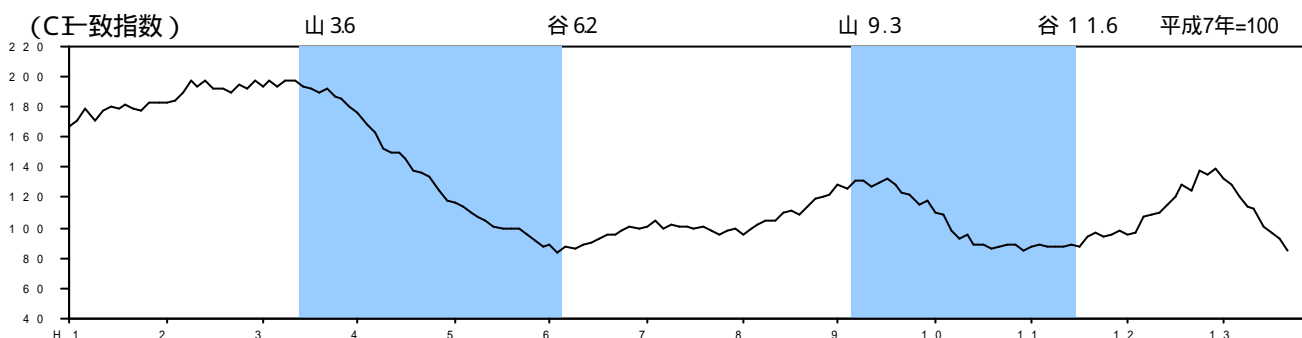
先行指数は、8か月連続で50%を下回った。

一致指数は、9か月連続で50%を下回った。

遅行指数は、14か月連続で50%を下回った。



DIが概ね3か月連続して50%を上回っていれば景気拡張期、下回っていれば景気後退期と判断される。



CIでは一般に、一致指数が上昇しているときが景気拡張期、下降しているときが景気後退期である。

D表

区分	景気動向指数					
	福島県			全国		
年月	先行指数	一致指数	遅行指数	先行指数	一致指数	遅行指数
12年5月	77.8	75.0	71.4	63.6	72.7	37.5
6	44.4	68.8	64.3	59.1	81.8	37.5
7	88.9	75.0	57.1	63.6	72.7	25.0
8	88.9	87.5	28.6	72.7	81.8	43.8
9	77.8	62.5	14.3	54.5	45.5	37.5
10	66.7	100.0	28.6	54.5	72.7	62.5
11	22.2	50.0	42.9	45.5	36.4	50.0
12	61.1	87.5	14.3	63.6	81.8	62.5
13年1月	50.0	37.5	35.7	45.5	45.5	50.0
2	33.3	37.5	42.9	36.4	9.1	56.3
3	38.9	25.0	42.9	18.2	9.1	31.3
4	33.3	12.5	28.6	27.3	18.2	37.5
5	33.3	25.0	28.6	63.6	36.4	25.0
6	11.1	0.0	28.6	36.4	31.8	25.0
7	44.4	25.0	42.9	45.5	9.1	56.3
8	27.8	12.5	42.9	45.5	0.0	25.0
9	22.2	25.0	16.7	27.3	9.1	25.0
10				P 16.7	P 10.0	P 14.3
採用指標数	9指標	8指標	7指標	11指標	11指標	8指標
資料	県：統計調査課「福島県景気動向指数」			は訂正值 Pは速報値		
出所	国：内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」					

一部の計数は速報値を用いており、確報訂正により、前回発表の計数と相違する場合がある。

#### 4 中小企業経営動向調査(12月調査 11月末時点) 自由意見より

(財) 福島県産業振興センター

##### 製 造 業

狂牛病の影響で売上の伸びが鈍い。【食料品】  
メイン商品の売上がダウン。懸念材料。

【食料品】

中小企業金融は厳しさが増す。【食料品】

業界の状況においては、毎月厳しさを増し、大型工場の倒産、合併が出てくると思う。自社としては、5年ほど前より会社工場の生産物のあり方を検討改善して、現在は何とか将来明るい状態に変わりつつある。【食料品】

中国品の輸入の増加。日本はこれで加工工場の生き残りができるのか。【織物】

グローバルな戦いには、勝てそうにありません。

【縫製】

冬期については、上棟が少ない。(受注が無い、少ないため) 【木材・木製品】

売上高は年々減少し、夏季手当の支給は出来ませんでした。せめて冬季手当の支給はと思いますが、銀行の利用は無理なので苦しい立場です。

【木材・木製品】

変化に自在に対応して行きたい。

【木材・木製品】

年度末期を迎え、多少なりとも上向きになるのではないかという希望的観測です。ぜひとも良くなって欲しい。【印刷】

こんな日本に誰がしたのか。【印刷】

11月中旬以降、全面的に悪化傾向を示してきている。長すぎる不況に耐えるのもほぼ限界と思うがいかがか。【鉄鋼・非鉄】

非常に悪い。息が切れそうです。

【鉄鋼・非鉄】

空洞化の撤回による景気回復を。

【精密機器】

8月以降、受注量減少、加工単価安等々で経営状況悪化。11、12月で合理化進める。業務縮小の動き強める。行政の指導お願いしたい。

【精密機器】

物づくりに徹してきたメーカーでさえ、倒産の危機に面しています。精神上でのよきアドバイス等挙げていただきたい。そして金融面での援助が無ければ生き残れない状況です。【漆器】

IT関連産業はじめ各産業分野とも需要が軟調で、当社も前年度期比で大幅減収減益の中間決算を発表した。【一般機械】

H14年度はもっと下降しそう。【一般機械】

依然として製造業関連の仕事は減少にある。

【プラスチック】

人件費の安い海外拠点工場が有る限り、国内生産はますます減少します。国内産業が発展するような政策を望む。【その他】

##### 建 設 業

あまりにも悪すぎ。コメントする気力も失せませす。いよいよ大恐慌到来か。【土木】

県北方部は、県庁所在地が故に業者の数が他方部と比較すると、ゼネコンの営業所の数だけでも過剰すぎる。特に官民共に競争が激化するのみである。故に物件によっては官民共に地元の活用が必要である。【建築】

工事量の減少に伴い、競争激化が目立ち、特に民間の工事の引き合いが少なく苦慮しています。

【建築】

##### 卸 売 業

販売先、仕入先共に業績不振にて商品構成、信用共に収縮の感あり。【衣服】

自分(自社)の商品開発を考えていかないと、生き残ることは大変である。【衣服】

取引先の倒産が今後は更に心配である。

【飲食料】

客数、販売単価は同じですが、販売数量の減少が厳しいです。【機械器具】

##### 小 売 業

やはりデフレ現象が一番重荷だ。客数は同じで点数は伸びており、金額のみが90%程である。コスト削減は全てやり、人件費削減を実施する。他営業時間の延長等営業面でやることは多々あり。

【中小スーパー】

12月8日より高杖スキー場のオープンが予定されていますが、寒くなり雪が降れば良いのですが心配です。【中小スーパー】

大型店同士の安値販売で、一般小売店は青息吐息でいつ廃業してもおかしくない状況です。

【衣料】

地域振興券的なもので一時期の活性化を図ることも必要。【衣料】

狂牛病の風評被害非常に絶大。【食料品】

他業種も参入している。【家電品】

年間各月ごとにイベントを企画し、積極的展開をしなければ売上は望めない。消費者のニーズに添えていかれる資質の高い物を販売していきたいと考えています。【家具・建具】

小売業不況。デフレスパイラル。【その他】

来年は淘汰の最終局面か。【その他】

建築工事量の激減、信用不安、IT関連企業の不況等は、直接関係があり、厳しい経営環境に有る。

【その他】

##### サービス業

1、2月は冬期間の集客が難しい。

【観光旅館】

大型旅館誘客のため販売価格値下げしている。

【観光旅館】

デフレは困る。インフレ歓迎。【観光旅館】

固定客があり、最近2年ほど同じ状態で続いておりますが、全然伸びは見られません。

【自動車整備】

**食品製造業**

**乳製品**：平成 13 年 12 月 2 日、厚生労働省は、第 3 回牛海綿状脳症（BSE）の検査に係る専門家会議において第 3 例目となる BSE であるとの確定診断がなされた旨発表した。これに関し、第 1 例から第 3 例の 3 頭に共通しているものとして、「代用乳」（哺乳牛に母牛の乳の代わりに与えられる液状給与飼料）が疑われる旨の一部報道がある。

しかし、「代用乳」は哺育用飼料で、各飼料会社で飼料用脱脂粉乳を主原料としつつも、その他家畜飼養に必要な様々な副原料・添加物等によって製造されており、食用に供される脱脂粉乳をはじめ各種乳製品とは異なるものであることを是非ご理解いただければと思う。

なお、脱脂粉乳をはじめ各種乳製品については、マウスでの感染試験成績をもとに国際機関でも安全とされ、世界の共通認識となっている。

**豆腐油揚**：BSE の影響で豆腐の売行きが良くなるかと思っただが、鍋物がダメでむしろダウンしているようである。

**パン**：食糧庁の発表した 8 月までのパン生産量調査によれば、全体では 0.7 % の増となっているが、大手の 3 % 増に比べ、中小企業では昨年 7 月以来、連続減少を示しており、8 月では、5.5 % の減となっている。特に中小企業の頼みの綱だった「菓子パン」の減少が大きく響いている。景況は依然として低調で回復の道はほど遠い現状である。

**味噌醤油**：JAS 改正に伴い、平成 15 年度より新しい新 JAS 制度がスタートする。平成 13 年 4 月より JAS 改正による表示問題をはじめ、14 年 4 月からのアレルギー物質の表示、15 年 4 月からはリサイクル法に伴う識別表示が義務づけされることになっている。大手企業においてはその対応もスムーズであろうが、中小零細企業では大変な負担となってくる。在庫ラベル・袋など大量に残っている企業が数多い現状である。また、新 JAS 制度適用により、大手メーカーに有利で零細企業に不利な経費負担増がでており、業界としては JAS 認定工場（しょうゆ）が、新 JAS 制度移行にどれだけの工場が JAS 工場として存続するか、組合運営にも影響が出てくることは明らかである。

味噌醤油業界では、景況には強いということがよく言われてきていたが、ここ 2 ～ 3 年景気回復の兆しがなく、味噌の比較的大きい企業が破産申告され、当業界では大きなショックである。業務用価格や市場価格の低下は依然として改善されず、売上、出荷、数量共に前年より減少している。県内においては現在のところ倒産はないが、組合員脱会も毎年数企業が出ており、今年の年末にかけ、どのような変化が生ずるか大変不安である。

**乾麺**：流通は請負業化し値引き返品は常套化している。単価下落のしわ寄せは製造元に。コストダウンも限界である。

**清酒**：造りは順調に推移しているが、灘、伏見の大

手メーカーによる価格破壊が拡大、地元酒はますます厳しい状況になっている。

**木材・木製品製造業**

**製材業**：（外材輸入）住宅資材としての木製品の価格デフレと同時に住宅メーカーの超低価格住宅の発売等、下期に入り一段と厳しい商況が続いている。

**紙・紙加工品製造業**

**紙器段ボール箱**：現在、紙器段ボール箱業界は「紙器製造業における IT 化」と「漸減する紙器業者、どうなる 21 世紀の業界」をテーマに活発な意見交換が行われている。

IT 化の問題は、「新しいものにチャレンジするという基本姿勢は忘れてはいけないし、情報というものは大事なものであるが、IT だけでモノが売れたり儲かったりすることは一切ない。モノを作る原点とは、考えることであり汗を流すことである。これが一番大切なことである。」ということの認識で一致している。

**出版・印刷**

**印刷**：年末商戦用の商業印刷物に期待するものの、中心市街地の中小店を含めて需要が薄い。官需・公共需要等も減少している。今後は生産量よりも生産価格に注目したい。売上高は、対前月比増、対前年同月比減。

**窯業・土石製品製造業**

**コンクリート製品**：取引先（建設業者）の倒産により売掛金の回収が予定通り出来ず、資金繰りに支障が生じた組合員もいた。

**碎石**：（東北地区）前々から申し上げていることではあるが、再生骨材の設計等による数量の大幅な減、又、最近再生骨材規格外品の設計が相馬市において取り入れられて当業界として困惑している。

（いわき地区）部分的に常磐道（四倉～広野間）の舗装工事追い込みのため増加している。

**生コン**：平成 13 年 11 月の出荷額は 166.6 千立方メートルであった。官公需・民需共に低調。特に白河・会津地区に顕著である。

**鉄鋼・金属・一般機械製造業**

**各種プラント機器**：IT、テロ等による世界的不況により、民間設備投資は極端に落ち込み、受注は著しく減少している。

**電子工業**：12 月 20 日以降の受注高が、さらに落ち込む見通しである。

今後銀行の不良債権処理が進むにつれて、借入金の多い中小企業については営業の継続が困難となってくる。

**精密機器**：東北地区の電機メーカーでは来年 3 月末までに 200 人リストラを決定。

組合外においても身近な建設業の倒産が目立つ。

## 卸売業

**卸売業**：(県中地区)景気低迷が続く中で、卸業は貸し倒れ対策が最大のテーマになってきている。常にごくかに引っかかるのではないかと薄氷を踏む思いで卸売業を営んでいるのが実状である。

(県南地区)客足が大型店へ向き、取引先受注の減少により景況は悪化の傾向にある。

**再生資源**：11月に入り再生資源の中で鉄屑・非鉄屑の相場が強含みで推移している。鉄屑は輸出の高水準と国内発生量の減少によるもので、非鉄は国際市況の続伸によるものだが、発生は少なく業界にとって増収増益には結びつかない。ただ来月(12月)は通年、換金物として発生が増えるので相場が下がらないことを願うのみである。

**肥料卸**：肥料業界を直撃した「BSE」問題だが、前年同月比をクリアできたことは良しとしたい。なお、操業度が低下したため、在庫を切り崩して出荷したことで、来春に向けて12月よりフル操業が予想されている。

## 小売業

**共同店舗**：(浜通り地区のSショッピングセンター)部分的には宝くじ部門と食品の連日のチラシ作戦による売上増加があったが、ファーストフードの工事のため、半月間休んだ店舗もあり、全体的には「不変」という結果になった。

**石油**：11月、元売り各社とも仕切価格は、2ヶ月連続の据置となった。しかしながら、県内販売店の小売価格は下落傾向にあり、更に厳しい経営状況が続いている。一方、産油国では、最近の原油安を受け、来年1月から約150万バレル/日の減産実施の方針にあり、今後の原油市況を注視する必要がある。

**食肉**：検査実施後、3頭目のBSEがでた影響により、枝肉価格及び部分肉価格は下落し、売上も下降している。

BSE発生量の報道に問題がある。実際にはBSEと確定した牛は絶対に市場には出回らないことになっているにもかかわらず、大々的に報道されるのは遺憾である。

**青果**：前月同様、特に厳しい。

**米穀**：相変わらず米余り過剰基調のなか、全般的に需要は低迷しており、業界全体の経営は厳しさを増している。

## 商店街

**福島市**：企業の9月中間決算の業績悪化による赤字や業績下方修正が続出、大リストラが吹き荒れ、更には残留社員の賃金引き下げの企業まで出はじめた。米国の同時多発テロの影響も各業種にじわじわと広がり始め、先行き不透明・不安で、個人消費は最悪、景況は悪化。

**郡山市**：依然として低調に推移。

**会津若松市**：長崎屋問題(集客に大きな打撃を受けるので商店街としても行政とタッグを組んで早期に解決したい)

**原町市**：光明を見出す為の対策が必要にもかかわらず

ず何も手も出ない市街地、お客様の通りも前年の7割程度。全く冷え切ってしまった感じがする。

## サービス業

**旅館業**：(土湯温泉)忘年会の時期が早まっている。日帰り入浴客が増加している。家族風呂利用が増加している(少人数による宿泊が多い)。

温泉街のお土産屋さんが閉鎖しつつある(売上不足もあるが後継者が町を離れていく)。土湯は福島市内で高齢化率が一番高い。

日帰り入浴客が多いにもかかわらず駐車場(公営)がない。

## 建設業

**建設業**：(県一円)会津方面は、県の公共工事の発注が既に終わっており、補正予算での発注に期待している。

(県南地区)公共民間工事とも、発注件数の減少により安値受注がかなり増加してきた。経営資金についても11月～12月は需要が増える時期であるので、借入が増加し、利払い等で、利益を圧縮している。

**電気工事**：今の電気業界においては景気の予測不可能である。年末から来年までの仕事量が問題である。

## 運輸業

**トラック運送**：(県北地区)景況は先月と同様荷動きは低調、相変わらず各産業界の生産活動の不振及び販売活動の不振から一般貨物の輸送量は停滞ないし減少の状態が続いている。このため収益及び資金繰りの悪化をとらえる業者がでており、不安が広まっている。

**ハイヤータクシー**：福島競馬(10/27～11/18)開催時の相乗効果は年々低下傾向。入場者数の低迷にも表れている。(不況による宿泊者減少・場外売場利用・コンピュータによる購入・全般的に財布のヒモが固い等々)

当協組でも全体会議を開くなどして各社毎の活動とも併せ、乗務員のマナーレベルアップを含めた対利用客へのサービスソフト面の向上に努め、劣勢挽回を図っている。

## 参考

### 1 「福島県金融経済概況」

平成13年11月30日 日本銀行福島支店

県内景気は、生産レベル引下げの動きが強まっている中、こうした動きが雇用・設備投資に加え、個人消費へも影響を及ぼし始めており、調整局面が一段と深まっている。

すなわち、企業の生産レベルは、海外景気の減速や国内設備投資向け需要の減少等から一段と生産を抑制する先やここへきて新たに減産に踏切る先がみられるなど引下げの動きが更に強まっている。

また、住宅投資が減少傾向にあるほか、公共投資も総じて減少基調にある。この間、設備投資も減少している。更に、個人消費も、これまで底固い動きを示してきた乗用車販売に陰りがみられている。

雇用情勢については、企業の生産調整等を映じて雇用調整に踏切る先がみられるなど悪化している。

### 2 「月例経済報告」

平成13年12月17日 内閣府

(我が国経済の基調判断)

景気は、悪化を続けている。

- ・個人消費は、弱含んでいる。失業率がこれまでにない高さに上昇するなど、雇用情勢は厳しさを増している。
- ・生産、企業収益は大幅に減少しており、設備投資も減少している。
- ・業況判断は、一層厳しさが増している。

先行きについては、世界経済が同時的に減速するなど、懸念すべき点がみられる。

(政策の基本的態度)

政府は、「今後の経済財政運営及び経済社会の構造改革に関する基本方針」及び構造改革の道筋を示す「改革工程表」に基づき、構造改革を断行することとしており、先般決定した「改革先行プログラム」の早急な実施に努めている。

12月4日には、平成14年度予算を「改革断行予算」と位置付ける「平成14年度予算編成の基本方針」を閣議決定した。

加えて、現在の厳しい経済の状況を踏まえ、構造改革を更に加速しつつ、デフレスパイラルに陥ることを回避するため、12月14日に「緊急対応プログラム」を決定した。これを受けて平成13年度第2次補正予算を編成する。



## 利用の手引き

### 1 はじめに

県内経済の動きについては、「福島県景気動向指数」を昭和60年から毎月発行して、景気の拡張・後退局面及び山・谷の基準日設定などの統計指標を提供してきました。我が国経済が低成長期に入り、よりコンパクトで全体像が把握できる統計指標への要望が高まってきましたので、関係機関の御協力もいただき、「最近の県経済動向」を平成6年4月より毎月発行しております。

今後さらに内容の充実に努めていきたいと考えていますので、ご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。

### 2 しくみ

「最近の県経済動向」では、本県経済の動向の判断に役立つように、マクロ的（巨視的）観点で簡潔に概況を述べるよう努めています。代表的な経済指標については、経済統計上の重要性、速報性に着目して29の指標を選び、全国比較もできるようにしています。

また、景気動向指数の要点をグラフで示すとともに、参考として、日本銀行福島支店の「福島県金融経済概況」、内閣府の「月例経済報告」を取り上げました。

部 門	個 別 指 標 名	資 料 出 所	部 門	個 別 指 標 名	資 料 出 所
個人消費	大型小売店販売額	経済産業省		有効求人数	福島労働局職業安定部 厚生労働省
	乗用車新規登録台数	自動車販売店協会 軽自動車協会		有効求職者数	
建設需要	新設住宅着工戸数	国土交通省		雇用保険受給者実人員	
	公共工事請負金額	保証事業会社協会		現金給与総額指数	県統計調査課 厚生労働省
	業務用建築物着工棟数	国土交通省		所定外労働時間指数	
生産活動	鉱工業生産指数	県統計調査課 経済産業省		常用雇用指数	
	投資財生産指数		パートタイム労働者比率		
	消費財生産指数		物 価	卸売物価指数（総平均）	日本銀行
	鉱工業出荷指数			消費物価指数（総合）	県統計調査課 総務省
	鉱工業在庫指数		企業・金融	企業倒産件数・負債総額	帝国データバンク
	大口電力使用量	金融機関預貸残高		日本銀行福島支店 日本銀行	
	大口電力契約量	貸出約定平均金利			
雇用・労働	新規求人倍率	福島労働局職業安定部 厚生労働省	中小企業業況判断DI	県産業振興センター	
	有効求人倍率		市 場	株式	日本経済新聞社 東京証券取引所
				円相場	日本銀行